

多摩川コンテスト「リベンジ」記

JM1LZT 富山俊一

2019 年が終わろうとしています。今年は残念ながら台風をはじめとする多くの自然災害が発生し、各地で大きな被害が出てしまったことは本当に残念です。幸か不幸かアマチュア無線家として非常通信に関わることはありませんでしたが、いざという時、社会のためになれるような備えだけはしておこうと思わざるを得なかった年でした。

非常通信のためではありませんが、「独立電源」で「自宅以外からでも通信が出来る」設備を持つようになって、この秋で一年が経ちました。当初は 240 グループの電波伝搬実験のためでしたが、その後 240 のみなさんとお付き合いさせていただく中で、移動運用にどんどん興味が湧いてきてしまい、それにコンテストというもともと好きだったジャンルが合体した結果が今年の私の無線生活を決定づけました。

4 月の ALL JA での試運転から始まり、東京コンテスト、6m and down、フィールドデー、東京 CW コンテストと全て「移動して 50MHz の CW」でエントリーしました。途中、KCJ コンテストや XPO コンテストへの自宅から 7MHz での参加もありましたが、本命は一貫して「移動して 50MHz の CW」だったのは間違いありません。

季節はめぐり 11 月末。今年最後の「本気モード」のコンテストをやり、私の移動運

用の原点ともいえる奥多摩周遊道路の浅間尾根駐車場に行ってきました。実はちょうど一年前、240の諸兄からご紹介いただいた埼玉の堂平山に初めて本格的な移動運用をやりに行き、「たまたま」予定していた日に行われていた「多摩川コンテスト」に参加しました。2時間のスプリントということもあり、当初は気軽に考えていましたが、いざ始めてみるとまあ実に「濃い」。多摩川流域の市、区、町がマルチでCWが3点SSBは2点。「先にやったQSOを得点とする」というルールは相当戦術、戦略を練ってかからないとハイスコアは期待できません。一応事前にルールは確認し、それなりの備えもしたつもりではあったのですが、現地でセットアップをし始めて大変なことに気づいてしまいました。「CW用のケーブルを忘れちゃった...」よっぽどエントリー自体をやめようかとさえ思いましたが、そこは失うもののない「ビギナー」の強心臓。もうSSBで遮二無二2時間吠え続けました。結果は6位入賞だったのですが、入賞者の中でCWゼロは私と7位の局だけ。「絶対来年再チャレンジして結果を出してやる」と強く心に誓ったのは言うまでもありません。

で、今年です。昨年の堂平山の飛びのよさに味を占め、今年も同じ場所から出る

つもりで準備をしていましたが...そう、台風が来ちゃったんです。10 月以降通行止めだらけで「復旧の目処はたっていない」との情報が。これにはまいりました。本当にさんざん悩んだ挙句、結局「原点回帰」ともいえる浅間尾根に決定したのは 11 月に入ってから。移動運用の道は本当に厳しいと痛感させられました。

24 日当日は都民の森の所にある奥多摩周遊道路のゲートオープンが朝 9 時ということで、例によって「椅子取りゲーム」に勝つべく、8 時ちょっと過ぎに到着。なんとかゲート前の先頭にクルマを着けることが出来一安心。私の後ろには明らかに「走り屋さん」のクルマが 1 台だけでした。浅間尾根の駐車場に着いてみると、もちろん無人。誰に気兼ねすることもなくせっせと設営開始です。一応 6 エレと 4 エレを用意はしてきましたが、基本的に多摩川沿線にビームを向けときゃ OK なコンテストなので、結局 6 エレのみとしました。10 月の東京 CW コンテストもそうでしたが「アンテナほぼ固定」ですむコンテストは、ずぼらな私の味方です(^^;

今年の「コンテストライフの総決算」（ちょっと大袈裟ですが）として、今度こそ本気で優勝狙いな今回は、もちろん CW のランスタート。開始 10 分以上前から「場所取

り」のために VVV...DE JM1LZT/1 を連打してたからだと思いますが、1 局目に 6 D で 30 年ぶりに再会したローカルの友人、2 局目に JA1RIZ 久保田さんがコールをくださり、大感激でした。その後も何とか順調に交信を重ね、ちょうど開始 1 時間で SSB へ。前述の通り「出来るだけ CW での QSO を稼ぎたい」ルールなわけですが、マルチのためには SSB も絶対必要。10 分ぐらい呼び倒した後、いよいよ SSB のランスタートです。考えてみたらちょうど一年前に SSB のみでこのコンテストをやった以来のフォーンコンテスト運用。しかもコンテストソフトを使っただけの運用は初めてです。どうなることかと思いましたが、案ずるよりも生むがやすし、案外なんとかなっちゃいました。後半の 1 時間で 80QSO だったのは上出来です。やはり「効率」だけを考えると CW より SSB に軍配が挙げられます。

正直、ちょ〜気持ちよかったです(^^)

二時間なんてあっという間。時計が午後 2 時 59 分 59 秒を指して戦闘終了。例によって 50.240MHz を聞きに行ってみると、JA1RIZ, JL1USZ のお二人の QSO が始まっていました。私も混ぜていただき、お二人にコンテスト時のお礼と戦果報告。ありがとうございました。

日が暮れるのが早いこの時期、さっさと撤収をしていると見たことのあるワンボックスが駐車場に。中から降りてきたのは5月の東京コンテストの時、同じ場所でご一緒し、多くのアドバイスや刺激を下された某著名コンテスターの方。今回は奥多摩周遊沿いの別の場所でやっておられたとのこと。お互いの戦果報告から今後の予定、コンテストの技術的な話まで多岐にわたるお話は、またまた私を奮い立たせてくれるのに十分でした。

帰りはお約束の数馬の湯で疲れと汚れを流し、一日の余韻に浸りました。今年の移動&コンテストはこれで終わりの予定です。毎年のごことではありますがこれから2月までは仕事の「農繁期」がやってきます。冬の間は、今年の反省と来年への計画策定の日々になるかと思えます。

240 諸兄、今年も多くのアドバイス、様々なご支援、本当にありがとうございました。来年も生意気な後輩を、よろしく願いいたします。

ちなみにスコアですが...

138 QSO 330 ポイント 22 マルチ $330 \times 22 = 7260$

でした。

さて、果たしてリベンジできたのでしょうか？

